

LCV-FM トワイライト交差点 環境コーナー  
テーマ【地球環境は公共財】

一般社団法人長野県環境保全協会（齊藤）

### 1. 2026 年がスタート、今年はどんな年？

新年早々に、米国がベネズエラでの軍事作戦を実施し、7日には「トランプ大統領が66もの国際機関からの脱退を指示しました。国際協調を無視し、力で利権を得ようとする姿勢が鮮明です。グリーンランドまでもが対象です。

昨年11月の「気候変動枠組条約（COP30）」でも国による考え方の違いが浮き彫りとなっており、環境問題解決に向けた国際協調はいきなり大混乱です。

### 2. 今年の環境に関する重要な国際会議は？

今年、二つの重要な締結国会議（COP）が予定されています。

1つ目は、8月にモンゴルのウランバートルで開催される「UN 砂漠化対処条約第17回締約国会議（UNCCD COP17）」です。

この会議は、砂漠化、土地劣化、干ばつに対する行動を加速させるための重要な国際フォーラムです。持続可能な土地管理、生態系および土地の回復、土地劣化の中立性（これをLDNという）の実施を推進することを目指しています。

2つ目は、「生物多様性条約第17回締約国会議（CBD・COP17）」で、2030年を達成年とする23項目の世界目標の進捗を評価する「グローバルレビュー」が実施される予定です。その結果は日本の政策や企業行動にも大きな影響を及ぼすことが見込まれます。

### 3. 米国はどうして国際協調に背を向ける？

二度の世界大戦の反省に基づいて、国際協調と自由貿易を進めたのは米国で、恩恵を一番享受して繁栄したのも米国です。トランプ大統領の、「世界各国の発展のために米国が大きな損をしている」というのは大きな勘違いなのですが、昔ほど豊かでなくなった米国国民の不満を背景に、国際協調に背を向けています。

### 4. どうしたら良い？

世界各国が、気候等の地球環境は「地球規模の公共財」との理解を進め、COPのような国際会議で科学的知見に基づいた実効性ある対策を、連携して進めていくしかありません。

公共財というのは、①対価を払わない人を利用から排除できない②ある人が利用しても他の人の利用が減らない、という二つの性質があります。

であれば、「皆で協力して公共財を大切にしよう」となるのですが、公共財には「フリーライダー（ただ乗り）」や「外部不経済」の問題があります。「誰かがやってくれるから」「他人の不利益は関係ない」という考え方です。これにより公共財が機能しなくなることを「市場の失敗」といいます。市場の失敗を招かないよ

う、国であれば、政府や行政が規制や税制やサービスによって市場の代りの役目を果たすのですが、世界を取り纏める強制力を持つ「世界政府」は残念ながらありません。

トランプ大統領の「ドンロー主義」は、「フリーライダー」的であり、自分の利益のために他国や地球環境に迷惑をかける「外部不経済」的でもあります。

#### 5. 地球環境が壊れると、人間も生きていけなくなってしまう。

40億年前の地球に生物が生まれて以来、全生物の70～90%が絶滅する「大絶滅」が5回あり、「ビッグ5」と呼ばれています。3度目には三葉虫が絶滅し、5度目には恐竜やアンモナイトが絶滅しました。

ちょうど今、上野の「国立科学博物館」の特別展で、「大絶滅展」が開催されています。私は先月観てきたのですが、大変な賑わいでした。

#### 6. 大絶滅の一番の原因は何？

多くは巨大火山の噴火による気候変動と言われており、5回目は隕石の衝突も重なっています。なお、これらの大噴火は、富士山の体積の何千倍ものマグマを放出する規模とのことで、その後は地球が冷えてきているので、将来この規模の噴火が起こる心配はほぼ無いとのことです。

ただ、現在は第6回目の「大絶滅期」といわれています。この原因は大噴火等の自然現象ではなく、私たち人間の活動に因る温暖化や森林の減少や汚染です。

人間の活動が今の大絶滅の原因になっているというのは大変残念なことです。

#### 7. 人間の活動が原因であれば、人間が何とかしなければいけない。

「大絶滅展」を開催している「国立科学博物館」には常設の展示もあります。

「地球館」では、「地球生命史と人類」について広大な展示スペースでの展示があり、多くの恐竜化石や各種動物等のはく製・標本の展示は圧巻です。絶滅した生物達は何かを訴えているようです。

館の入口には地球の自転現象を示す「フーコーの振り子」があり、人工衛星や化学実験のコーナーもあります。

「日本館」では日本列島の自然や生き立ちを展示しています。

常設の展示は何日もかけて観るだけの内容があり、必見です。太古の事実から現在を、そして未来を考えていきたいですね。

以上